



撓まず 屈せず がんばろう 釜石！

# 平田地区

発行：平成 25 年 11 月  
発行元：釜石市復興推進本部

## 復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

### 復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

平田地区における土地区画整理事業のスケジュールの見直しや、進捗状況、国道 45 号の仮道路計画、避難誘導施設の設置工事等を説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。

意見交換では、避難経路・避難場所の設置構造についての検討や、水害が多い君ヶ洞川の河川改修等の対策等、今後の平田地区の復興と合わせて考えるべき課題に関する意見が挙げられました。



開催概要	開催日：平成 25 年 9 月 26 日（木）	時間：19：00～21：00
	場所：平田集会所	参加人数：91 人

### 土地区画整理事業スケジュールの見直しについて

これまでのスケジュール案において、平成 25 年 9 月末頃に予定していた仮換地指定※を 12 月までと見直しました。変更内容は、まず 10 月頃から国道の仮道路が通る部分の一部仮換地指定を行うと共に、地権者の方々に起工承諾※をお願いしていきます。起工承諾をいただき、平成 25 年度下期から国道 45 号線の仮道路整備、同時並行でかさ上げ工事を進めて参ります。

また、新たに仮換地の供覧を行い、12 月に仮換地の指定を行う予定です。

### 土地区画整理事業の進捗について

平成 24 年 11 月に都市計画決定、平成 25 年 3 月に事業計画の認可を受け、6 月に土地買取りに係る意向調査を実施しました。同年 6 月に土地区画整理審議会の委員の告知にて、9 名を決定しました。

10 月頃を目処に平田地区の詳細設計業者、工事施工業者を決定し本格的な土地の造成、かさ上げ工事等を進めて行きます。

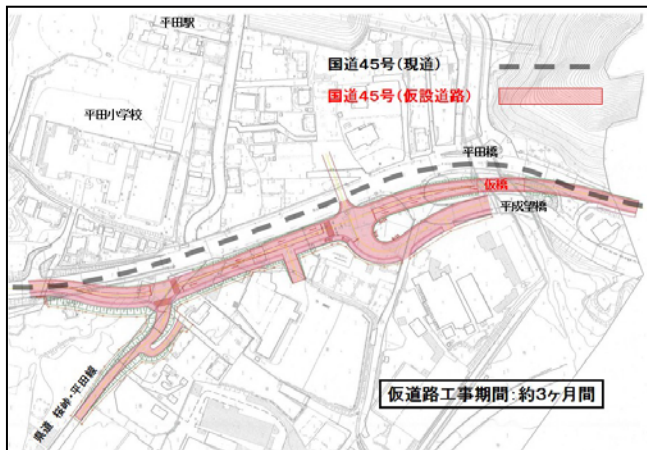
現在、減歩（げんぶ）緩和用地※の買収予定面積（約 2 万㎡）に対して売却意向面積の不足分（約 2 千㎡）について、買収可能地を探している段階です。

### 国道 45 号仮道路計画について

平田小学校入口～平田橋区間にて国道仮道路を計画しており、平田橋と平成望橋の間に仮の橋を架けます。来年 3 月までに仮道路への切り替えを完了する予定です。

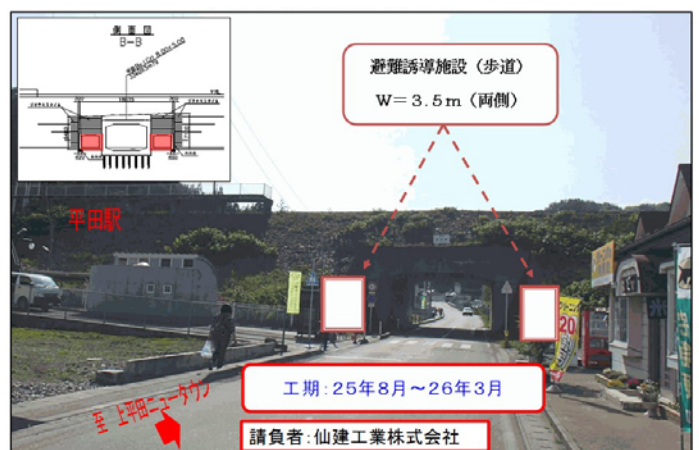
仮道路を施工するために、対象の地権者の方々から起工承諾をいただき、仮換地指定を行っていきます。

#### 国道 45 号仮道路計画図



【別添資料 11 ページ】

#### 平田地区避難誘導施設設置工事



【別添資料 13 ページ】

※仮換地指定：地権者の方々に対して、将来換地される土地の位置や範囲を指定するものです。  
 ※起工承諾：仮換地指定前に、盛土などに着手するため、地権者に工事の施工の承諾をいただくものです。  
 ※減歩緩和用地：減歩率を低くするために、公共施設として必要な広さ分の用地を、市が先行して買取る用地のことです。



## 平田地区避難誘導施設設置工事について

三陸鉄道高架部（平田駅付近）に避難路を確保するため、車道用トンネルの両側に幅員 3.5mの歩道専用トンネルを施工しています。平成 25 年 8 月から工事を始めており、平成 26 年 3 月末までに完成させる予定です。

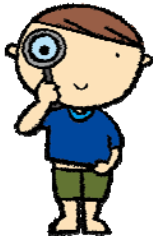
## 災害公営住宅（釜石市平田団地）入居者募集について

釜石市平田団地の入居者（126 戸）を平成 25 年 10 月 8 日まで募集していました。募集戸数のうち 7 割を、震災時に平田地区に住んでいた方の枠、3 割をその他の被災者の枠にする予定です。また、住宅再建意向調査速報値（9 月 26 日時点）では、右記のようになっています。

### 住宅再建意向調査速報値

（平成 25 年 9 月 26 日時点）

- 平田地区災害公営住宅希望者：50 世帯
- 従前地での自力再建：52 世帯
- 市内転居：10 世帯
- 市外転出：5 世帯



## このような意見をいただきました

- 用地測量が終わっていないと聞いたが、どの部分が終わっていないのか。

しばらくの間、広範囲の土地の境界が決まらない状況が続いていましたが、現在、概ね合意を得られそうな状況となりました。

- 供覧の説明が今までなされていなかったが、内容を教えて欲しい。

供覧とは、地権者の新しい土地の位置、面積、形状を仮換地指定に先立ち、地権者の方に説明することです。

- 供覧時に仮換地の変更はできるのか。

仮換地の変更はできません。

- 仮換地指定場所はどこになるか。

原則、従前の土地と似かよった条件の場所に換地します。

- 減歩率はどの程度になるか。県道や下平田川沿いの道路の拡幅計画により減歩率が高くなるので、拡幅量を抑えられないのか。

平均 1 割程度です。ただ、従前の条件によって減歩率は変わってきますのでご了承下さい。県道沿いの用地は減歩率が高くなります。また、道路計画の変更はできません。

- 地区内を流れている君ヶ洞川は、昔から災害がおこる。河川改修等の対策は行なわないのか。

川の対策に関しては、十分な情報を得ながら詳細設計に反映させ検討していきたいと思えます。



- 新設する災害公営住宅は、平田地区の住民のみでは埋まらないのではないか。埋まらなかった場合、他地区の入居希望者を入れるのか？また、希望者が少ない理由をどのように考えているのか？

意向調査の回収率が半分に満たない状況で、入居希望者数が 50 世帯になりますが、今後希望者が増え、最終的には、一年前の調査時の 121 世帯に近い数字になると思われます。残った枠は平田以外の希望者の方々に向けて募集していくことになります。また、希望者数が少ない原因については、意向調査の中で確認していきたいと思えます。

仮換地指定については、仮換地設計の供覧を通じ、丁寧に説明していきたいと思えます。1 日も早く工事を完成させたいと思えますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ

釜石市復興推進本部

TEL：0193-22-2111(内線 192)

FAX：0193-22-9505